



SCAS BB のインストール

この章では、**Service Control Application Suite for Broadband (SCAS BB)** アプリケーションのインストールおよび起動プロセスについて説明します。

SCAS BB アプリケーションのインストールは、3 段階に分かれます。

- *pqi* ファイルを使用した **SCAS BB** アプリケーション コンポーネントのインストール
- **SCAS BB** フロントエンドのインストール
 - SCAS BB Console
 - SCAS Subscriber Manager GUI (任意)
 - **SCAS BB** Service Configuration Utility
 - SCAS Reporter (任意)
- フロントエンドの起動およびログオン

この章の内容は、次のとおりです。

- [始める前に \(p.3-2\)](#)
- [SCAS BB アプリケーションのインストール \(p.3-3\)](#)
- [SCAS BB フロントエンドのインストール \(p.3-4\)](#)

始める前に

SCAS BB アプリケーションをインストールする前に、SCE プラットフォームと smartSUB Manager (SM) (使用されている場合のみ) が正常に動作していることを確認します。

SCE プラットフォームが正常に動作していることを確認するには、次の作業を行います。

-
- ステップ 1** SCE のステータス LED がグリーンに点滅していることを確認します (他の色は、起動中 [オレンジ]、警告 [オレンジに点滅]、または障害 [レッド] を表します)。
-

SM が正しくインストールされていることを確認するには、次の作業を行います。

-
- ステップ 1** SM への Telnet セッションを開き、SM bin ディレクトリに進み、次のように入力します。

```
> p3sm --sm-status
```

上記のコマンドは、SM の動作ステータスを表示します。

SCAS BB アプリケーションのインストール

SCE プラットフォームには、**SCAS BB** のソフトウェア コンポーネントが2つ存在します。

- **SCAS BB** SLI
 - **SCAS BB** SCE 用管理プラグイン。サービス コンフィギュレーション操作の一部を実行します。
- また、SM には、**SCAS BB** のソフトウェア コンポーネントが1つ存在します。
- **SCAS BB** SM 用管理プラグイン。アプリケーション固有の加入者管理操作の一部を実行します。

SCAS BB パッケージファイル (*.pqi) をアップロードすることによって、**SCAS BB** が SCE プラットフォームまたは SM にインストールされます。

SCAS BB PQI ファイルのインストール

SCE デバイスに **SCAS BB** PQI ファイルをインストールするには、次の作業を行います。

ステップ 1 PQI ファイルの場所を見つけます。

ステップ 2 SCE デバイスのコマンドラインに、次のように入力します。

```
>enable 10
Password: *****
#configure
(config)#interface LineCard 0
(config if)#pqi install file engXXXXXX.pqi
```

インストール状況を確認しながら、完了するのを待ちます。

PQI ファイルがインストールされました。

smartSUB Manager への SCAS BB のインストール（任意）

システム構成に SM が含まれる場合は、SM PQI をインストールします。

SM デバイスに **SCAS BB** PQI ファイルをインストールするには、次の作業を行います。

ステップ 1 FTP で、SM に適切な *pqi* ファイル (SM 用) をアップロードします。

ステップ 2 SM への Telnet セッションを開きます。

ステップ 3 SM bin ディレクトリに進み、次のように入力します。

```
>p3inst --install --file=sm_engXXXXXX.pqi
```

インストール状況を確認しながら、完了するのを待ちます。

PQI ファイルがインストールされました。

SCAS BB フロントエンドのインストール

次の **SCAS BB** フロントエンドは、一度の操作（ウィザード）でインストールされます。以下に内容を説明します。

- SCAS BB Console
- SCAS smartSUB Manager

SCAS Reporter は、単独でインストールされます。

システム要件

SCAS BB GUI フロントエンドは、Windows 98、Windows 2000、Windows NT、Windows XP が稼働しているコンピュータにインストールできます（256 MB メモリ以上）。

ソフトウェアのインストール

SCAS BB フロントエンドをインストールするには、次の作業を行います。

ステップ 1 *SCAS_BB_Clients_Setup.exe* をダブルクリックします。

ファイルが展開され、Installation Wizard が開きます。

ステップ 2 インストールが完了するまで、Installation Wizard の手順に従います。

ステップ 3 **Finish** をクリックして、Installation Wizard を閉じます。

SCAS BB がマシンにインストールされました。「**Start>Programs>Cisco SCAS**」から開くことができます。

SCAS Reporter のインストール

SCAS Reporter をインストールするには、次の作業を行います。

ステップ 1 PC に既に Reporter またはテンプレートがインストールされている場合は、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンから削除します。

ステップ 2 *SCASReporter.exe* をクリックして、Reporter をインストールします。

ステップ 3 インストールが完了するまで、Installation Wizard の手順に従います。

ステップ 4 *rpt-templ-scas-bb* をクリックして、**SCAS BB** テンプレートをインストールします。

ステップ 5 インストールが完了するまで、Installation Wizard の手順に従います。

SCAS BB コマンドライン ユーティリティのインストール

SCAS BB サービス コンフィギュレーション コマンドライン ユーティリティをインストールするには、次の作業を行います。

-
- ステップ 1** *scas_bb_util.tgz* ファイルの場所を見つけ、Windows または Solaris ワークステーションにコピーします。
- ステップ 2** ファイルを新しいフォルダに解凍します。
- ステップ 3** *bin/* フォルダの下に *servconf* ユーティリティが入ります。
-

フロントエンドの起動およびログオン

インストールを実行すると、インストールしたすべてのフロントエンドのショートカットが **Start** メニューに追加されます。

SCAS SM GUI または SCAS Reporter を起動する場合、それぞれ SCE プラットフォーム または Collection Manager (CM) のデバイスに接続する必要があります。SCE プラットフォームからサービス コンフィギュレーションを取り込む場合にも、対応する SCE プラットフォームに接続する必要があります。

SCE プラットフォーム、SM、または CM に接続するには、次の情報が必要になります。

- ユーザ名
- パスワード
- SCE プラットフォーム /SM/CM のアドレス

各クライアントのログオン手順については、次のセクションで個別に説明します。

SCAS BB Console の起動

SCAS BB Console を開く手順は、SCE デバイスに接続する必要があるかどうかで、多少異なります。既存のサービス コンフィギュレーションを開いたり、または新しいサービス コンフィギュレーションを作成するだけの場合は、SCE デバイスに接続する必要がありません。ただし、SCE デバイスから実行中のサービス コンフィギュレーションを取り込む場合は、デバイスに接続する必要があります。

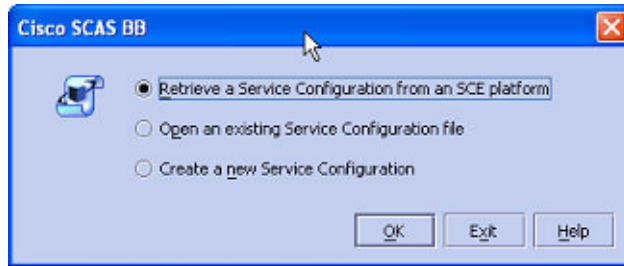
SCE デバイスに接続するには、次の情報が必要になります。

- パスワード
- SCE プラットフォームの IP アドレス

SCAS BB Console を開き、既存のサービス コンフィギュレーションを開くか、または新しいサービス コンフィギュレーションを作成するには、次の作業を行います。

-
- ステップ 1** **Start > Programs > Cisco SCAS > SCAS BB x.x.x > SCAS BB Console** を選択します。

次のダイアログが開きます。



ステップ 2 該当するラジオ ボタンをクリックして、既存のサービス コンフィギュレーションを開くか、新しいサービス コンフィギュレーションを作成します。

ステップ 3 **OK** をクリックします。

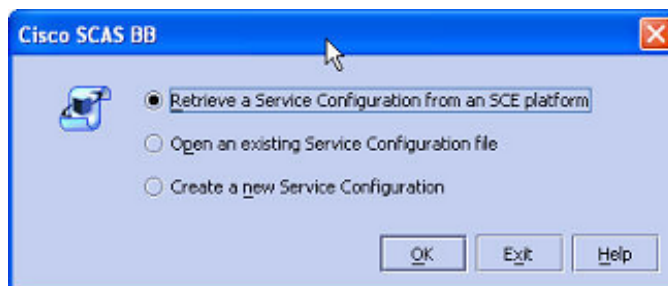
選択された項目に応じて、システムが応答します。

- 既存のサービス コンフィギュレーションを開く場合：*Open a Service Configuration* ダイアログが開きます。
- 新しいサービス コンフィギュレーションを作成する場合：新しいサービス コンフィギュレーション ファイルが作成されることを示すメッセージが表示されます。

SCAS BB Console を開き、サービス コンフィギュレーションを取り込むには、次の作業を行います。

ステップ 1 **Start > Programs > Cisco SCAS > SCAS BB x.x.x > SCAS BB Console** を選択します。

次のダイアログが開きます。



ステップ 2 該当するラジオ ボタンをクリックして、SCE デバイスからサービス コンフィギュレーションを取り込みます。

ステップ 3 **OK** をクリックします。

Connect to SCE ダイアログが開きます。



ステップ 4 パスワードおよび SCE デバイスのアドレスを入力します。

ステップ 5 **OK** をクリックします。

SCAS BB Console が指定された SCE プラットフォームに接続され、そのデバイスのサービス コンフィギュレーションが SCAS BB Console に表示されます。

サービス コンフィギュレーションが取り込まれると、SCE デバイスと SCAS BB Console との通信は切断されます。

SCAS Subscriber Manager GUI へのアクセス

Start メニューまたは SCAS BB Console から、SCAS Subscriber Manager GUI にアクセスできます。Subscriber Manager GUI を開くには、**SCAS BB** が SM に接続されている必要があります。

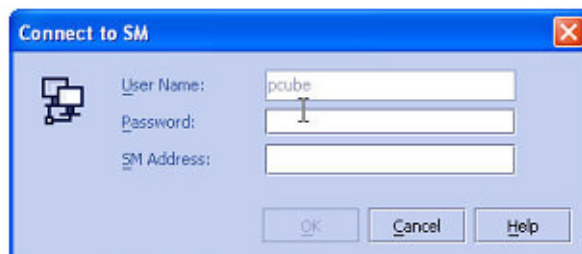
Subscriber Manager GUI に接続するには、次の情報が必要になります。

- ユーザ名
- パスワード
- SM の IP アドレス

Start メニューから SM にアクセスするには、次の作業を行います。

ステップ 1 **Start > Programs > Cisco SCAS > SCAS BB x.x.x > SCAS Subscriber Manager** を選択します。

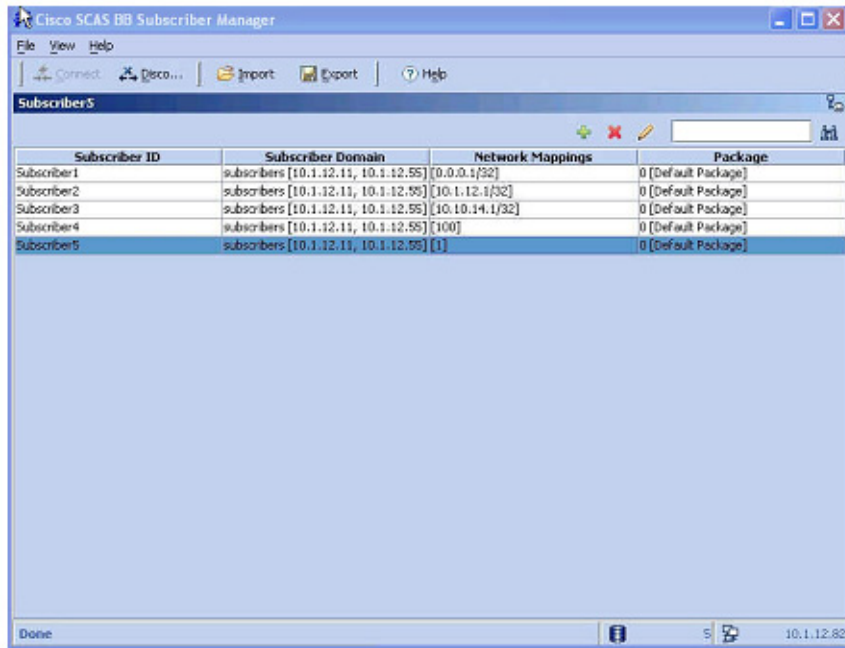
Connect to SM ダイアログが開きます。



ステップ 2 パスワードおよび SM の IP アドレスを入力します。

システムが SM に接続され、*SM Main Window* が開きます。

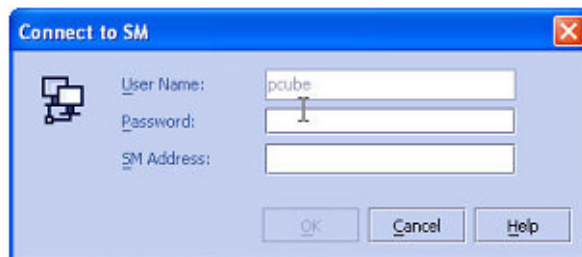
図 3-1 SM Main Window



SCAS BB Console から SM にアクセスするには、次の作業を行います。

ステップ 1 SCAS BB Console で、**Tools > Subscriber Manager** を選択します。

Connect to SM ダイアログが開きます。



ステップ 2 パスワードおよび SM の IP アドレスを入力します。

システムが SM に接続され、*SM Main Window* が開きます（上記の図を参照）。



(注) SM に接続するには、SM マシン上の FTP サーバがポート 21 でイネーブルにされている必要があります。接続パスワードは、pcube アカウントのパスワードです。

SACS Reporter へのアクセス

Start メニューまたは SCAS BB Console から、SCAS Reporter にアクセスできます。SCAS Reporter を開くには、**SCAS BB** が CM に接続されている必要があります。

SCAS Reporter にアクセスするには、次の作業を行います。


ステップ 1 以下の 2 つの方法のうち、利用しやすい方を選択します。

- **Start** メニューから SCAS Reporter にアクセスする場合
Start > Programs > Cisco SCAS > SCAS BB x.x.x > SCAS Reporter を選択します。
- <GIU> 内から SCAS Reporter にアクセスする場合
Tools > SCAS Reporter を選択します。

Connect to Cisco Collection Manager ダイアログが開きます。

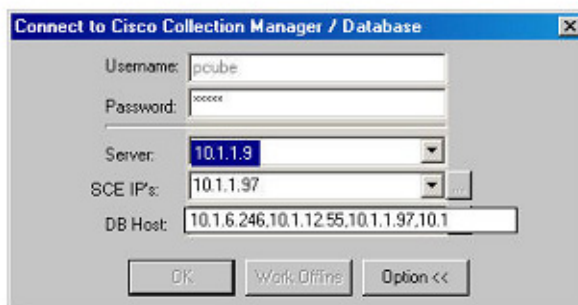


ステップ 2 パスワードおよびサーバの IP アドレスを入力します。

SCE IP's フィールドの横にある  ボタンをクリックして、CM に接続されていた、または接続されているすべての SCE デバイスの IP アドレス リストを表示できます。*Reporter Wizard* に表示されるすべてのオプション（使用可能なパッケージ、サービスなど）は、リスト内の最初の SCE プラットフォームに現在適用されているサービス コンフィギュレーションによって決まります。ただし、レポートはリスト内のすべての SCE デバイスのデータを元に生成されます。目的の SCE プラットフォームがリストの最初に表示されていることを確認します。

1 つの SCE プラットフォームに対するレポートだけを生成する場合は、リストから他の IP アドレスを削除します。

DB Host フィールドは、**Server** フィールドと同じ IP アドレスを表示します。



ステップ3 OK をクリックします。

システムが CM に接続され、*Reporter Main Window* が開きます。

図 3-2 Reporter Main Window

